

令和8年（2026年）

# さわ研究所 第116回国試対策 教員セミナー

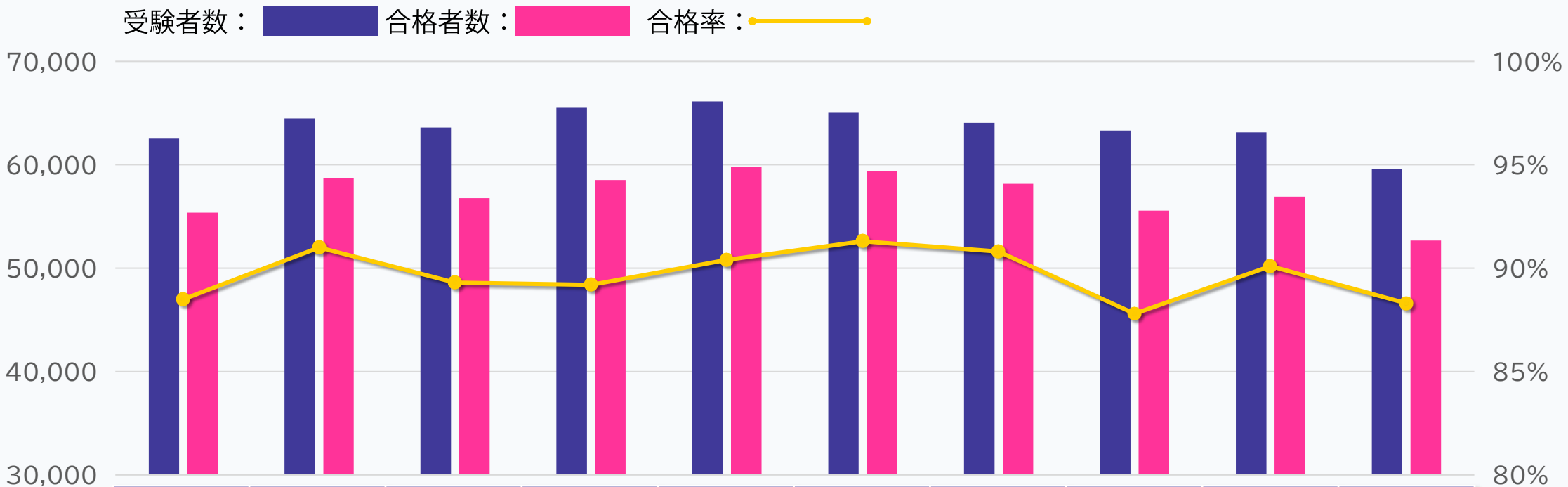
4月4日  
さわ研究所

# 第115回看護師国家試験の結果

	合格者数 (人)	不合格者数 (人)	合格率 (%)
全体	52,666	6,948	88.3
新卒者	50,862	3,174	94.1
既卒者	1,804	3,774	32.3

2026年3月24日 厚生労働省発表

# 受験者数・合格者数と合格率



	第106回	第107回	第108回	第109回	第110回	第111回	第112回	第113回	第114回	第115回
受験者数 (人)	62,534	64,488	63,603	65,569	66,124	65,025	64,051	63,301	63,131	59,614
合格者数 (人)	55,367	58,682	56,767	58,514	59,769	59,344	58,152	55,557	56,906	52,666
合格率 (%)	88.5	91.0	89.3	89.2	90.4	91.3	90.8	87.8	90.1	88.3

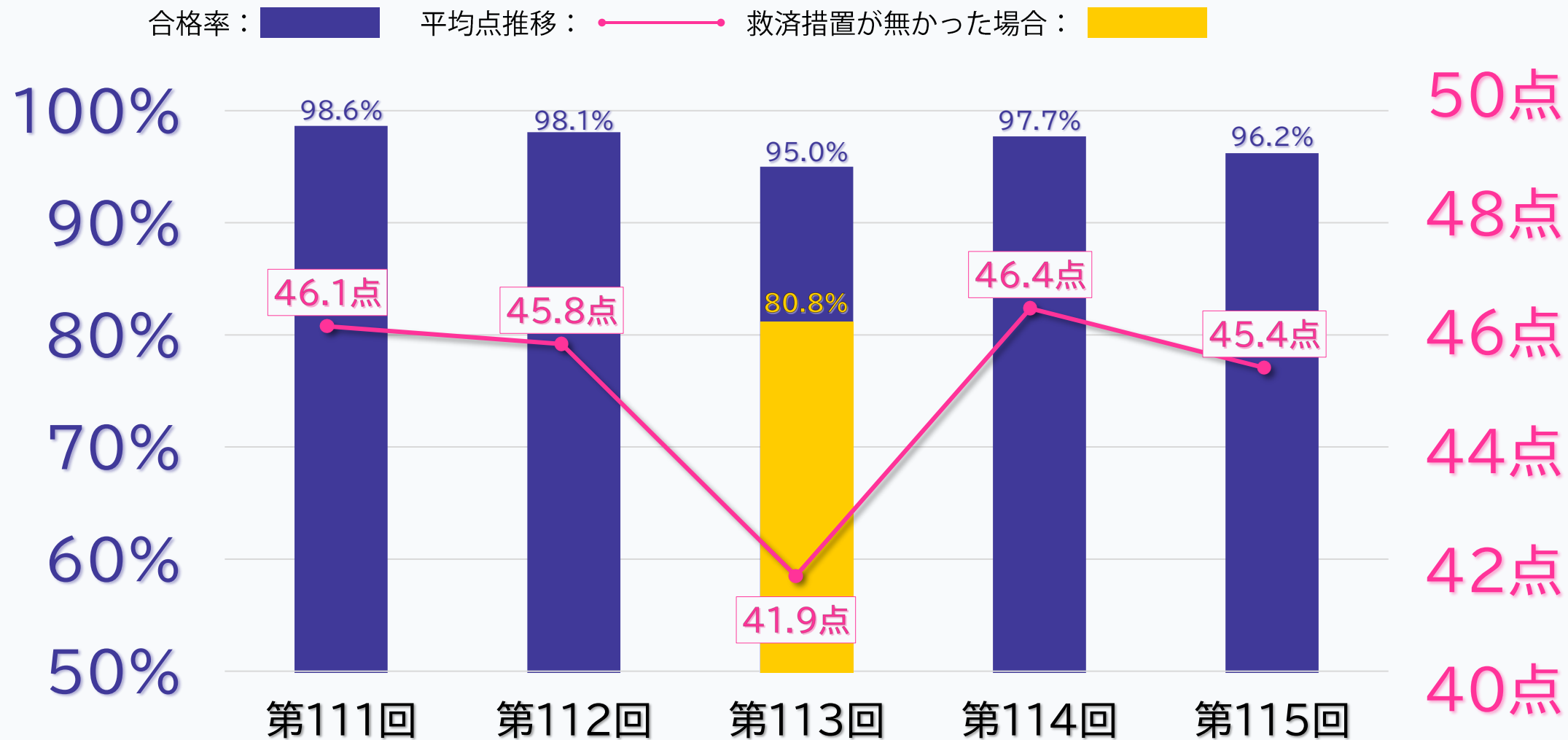
# 第115回 合格基準 ①一次判定：必修問題

---

40点以上／50点

※採点除外等問題なし

# 必修問題の平均点推移



第115回 合格基準 ②二次判定：一般・状況設定問題

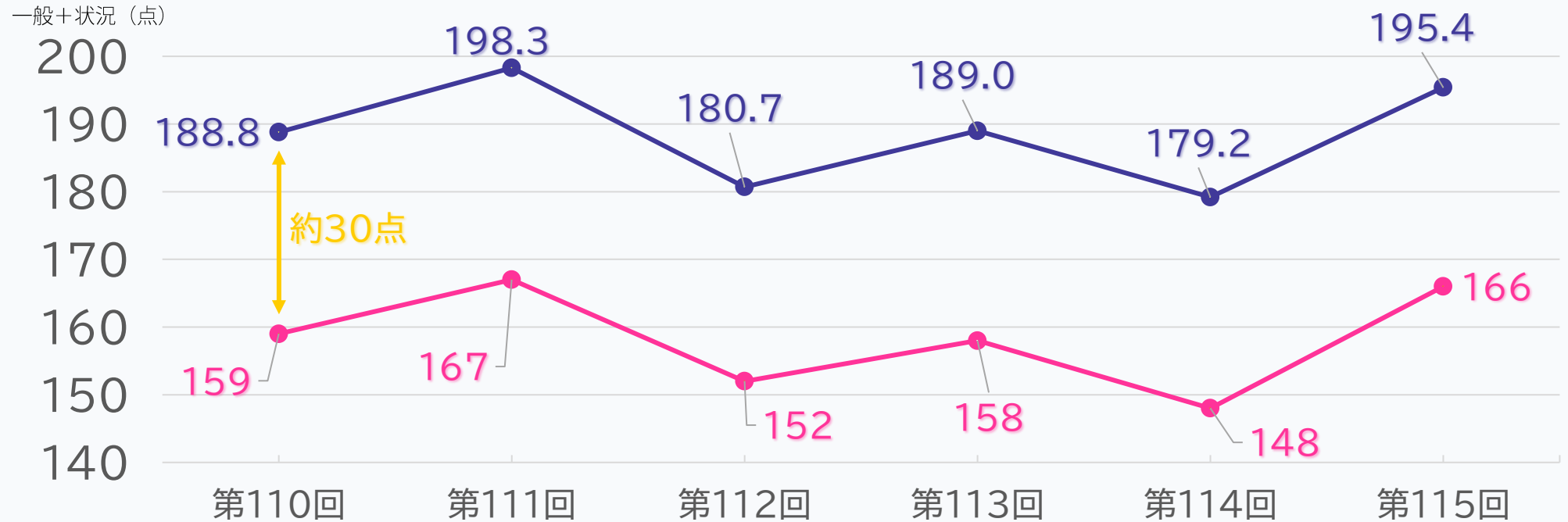
---

166点以上／249点

※採点除外1問、複数正解1問

# 二次判定合格基準点（ボーダーライン）と平均点

全国平均点：●——● (さわ研究所調べ)      二次判定合格基準点：●——●



全国平均点	188.8	198.3	180.7	189.0	179.2	195.4
二次判定合格基準点	159	167	152	158	148	166

## 【必修】 中間層-下位層の領域別正答率・点差

	領域	中間層の正答率	下位層の正答率	正答率の差	配点	点差
必修	目標Ⅰ	93.6 %	85.4 %	8.2	10点	0.8点
	目標Ⅱ	95.4 %	87.4 %	8.0	10点	0.8点
	目標Ⅲ	89.6 %	78.1 %	11.5	17点	2.0点
	目標Ⅳ	88.8 %	76.9 %	11.9	13点	1.5点
						必修計

# 【一般・状況】 中間層-下位層の領域別正答率・点差

	領域	中間層の正答率	下位層の正答率	正答率の差	配点	点差
一般・状況	①人体の構造と機能	40.7 %	28.4 %	12.3 %	13点	1.6点
	②疾病の成り立ちと回復の促進	55.5 %	41.9 %	13.6 %	10点	1.4点
	③健康支援と社会保障制度	59.8 %	44.5 %	15.3 %	8点	1.2点
	④基礎看護学	77.5 %	62.2 %	15.3 %	19点	2.9点
	⑤成人看護学【一般】	71.1 %	58.7 %	12.4 %	21点	2.6点
	⑤成人看護学【状況】	85.6 %	72.3 %	13.3 %	24点	3.2点
	⑥老年看護学【一般】	62.3 %	51.2 %	11.1 %	14点	1.6点
	⑥老年看護学【状況】	96.2 %	88.9 %	7.3 %	18点	1.3点
	⑦小児看護学【一般】	75.7 %	59.7 %	16.0 %	9点	1.4点
	⑦小児看護学【状況】	92.2 %	81.8 %	10.4 %	18点	1.9点
	⑧母性看護学【一般】	60.3 %	45.0 %	15.3 %	9点	1.4点
	⑧母性看護学【状況】	87.3 %	72.6 %	14.7 %	18点	2.6点
	⑨精神看護学【一般】	86.3 %	71.9 %	14.4 %	7点	1.0点
	⑨精神看護学【状況】	91.9 %	82.0 %	9.9 %	18点	1.8点
	⑩在宅看護論／地域・在宅看護論【一般】	89.0 %	78.3 %	10.7 %	9点	1.0点
	⑩在宅看護論／地域・在宅看護論【状況】	84.9 %	76.9 %	8.0 %	12点	1.0点
	⑪看護の統合と実践【一般】	78.7 %	64.7 %	14.0 %	10点	1.4点
⑪看護の統合と実践【状況】	86.1 %	72.8 %	13.3 %	12点	1.6点	
					一般・状況計	30.8点

## 下位層の正答率が特に低い問題

問題No.	領域	正答	中間層の正答率	下位層の正答率	正答率の差
PM-95	⑤成人看護学【状況】	4	80.1 %	36.3 %	43.8
PM-54	⑤成人看護学【一般】	2	77.1 %	39.8 %	37.3
PM-71	⑪看護の統合と実践【一般】	4	77.7 %	42.8 %	34.9
PM-14	目標Ⅲ	3	84.5 %	50.0 %	34.5
AM-75	①人体の構造と機能	2	72.5 %	38.2 %	34.3
PM-81	③健康支援と社会保障制度	3	60.6 %	26.3 %	34.3
PM-88	⑦小児看護学【一般】	1・4	67.0 %	38.0 %	29.0
AM-28	①人体の構造と機能	4	66.9 %	38.0 %	28.9
PM-66	⑧母性看護学【一般】	1	57.4 %	28.9 %	28.5
PM-12	目標Ⅲ	3	70.3 %	42.5 %	27.8

# 下位層の正答率が特に低い問題①

第115回午後 [問題95]

Aさんは腹腔鏡を用いた気腹法による左半結腸切除術を受けることになった。入院に付き添ってきた妻は「腸を半分も切ると言われて驚いてしまいました。ずいぶん切るそうですが、どんな手術になるのかしら」と話した。

Aさんの手術について正しいのはどれか。

1. 局所麻酔で行う。
2. 上行結腸側を切除する。
3. 20cm程の切開創ができる。
4. 二酸化炭素を腹腔内に入れる。

<正答率74.8%>

※全国正答率（さわ研究所調べ）

上位層：97.1%

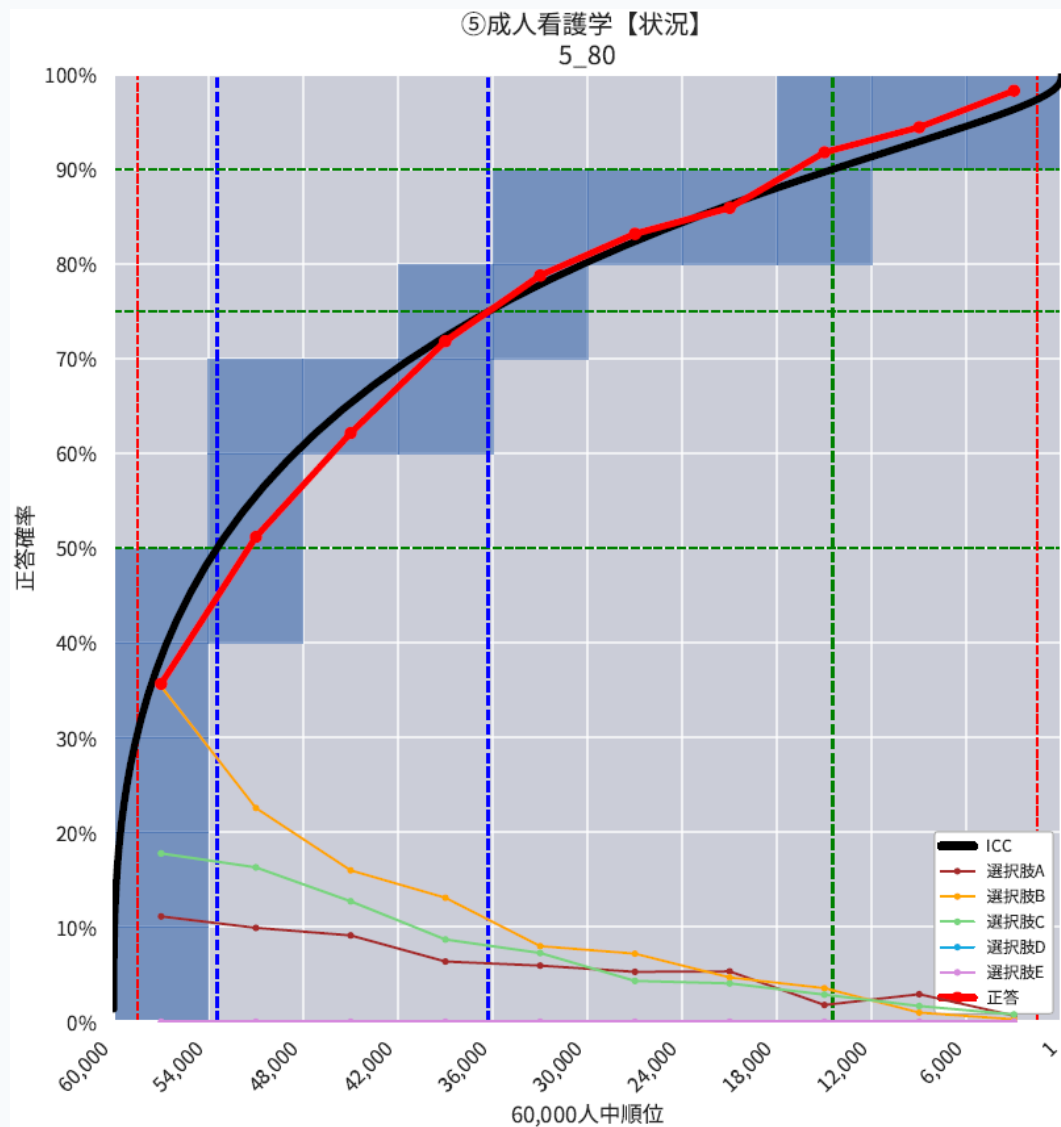
中間層：80.1%

下位層：36.3%

上行結腸は右 or 左？



# IRT解析-正答率曲線 第115回午後 [問題95]



# 下位層の正答率が特に低い問題①ー類題

(類題) 第114回午前 [問題95]

Aさんは、全身麻酔下で気腹法による腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けている。手術中のAさんに最も生じやすいのはどれか。

1. 体温の上昇
2. 心拍出量の上昇
3. 腹腔内圧の低下
4. 動脈血二酸化炭素分圧  $\langle \text{PaCO}_2 \rangle$  の上昇

<正答率47.1%>

※全国正答率 (さわ研究所調べ)

二酸化炭素は去年も出題されていましたが……



## 下位層の正答率が特に低い問題②

第115回午後 [問題54]

乳房超音波検査について正しいのはどれか。

1. 腹臥位で行う。
2. 妊娠中も受けられる。
3. 乳房を板状のものではさむ。
4. 石灰化した病変を発見しやすい。

<正答率71.6%>

※全国正答率（さわ研究所調べ）

上位層：90.7%

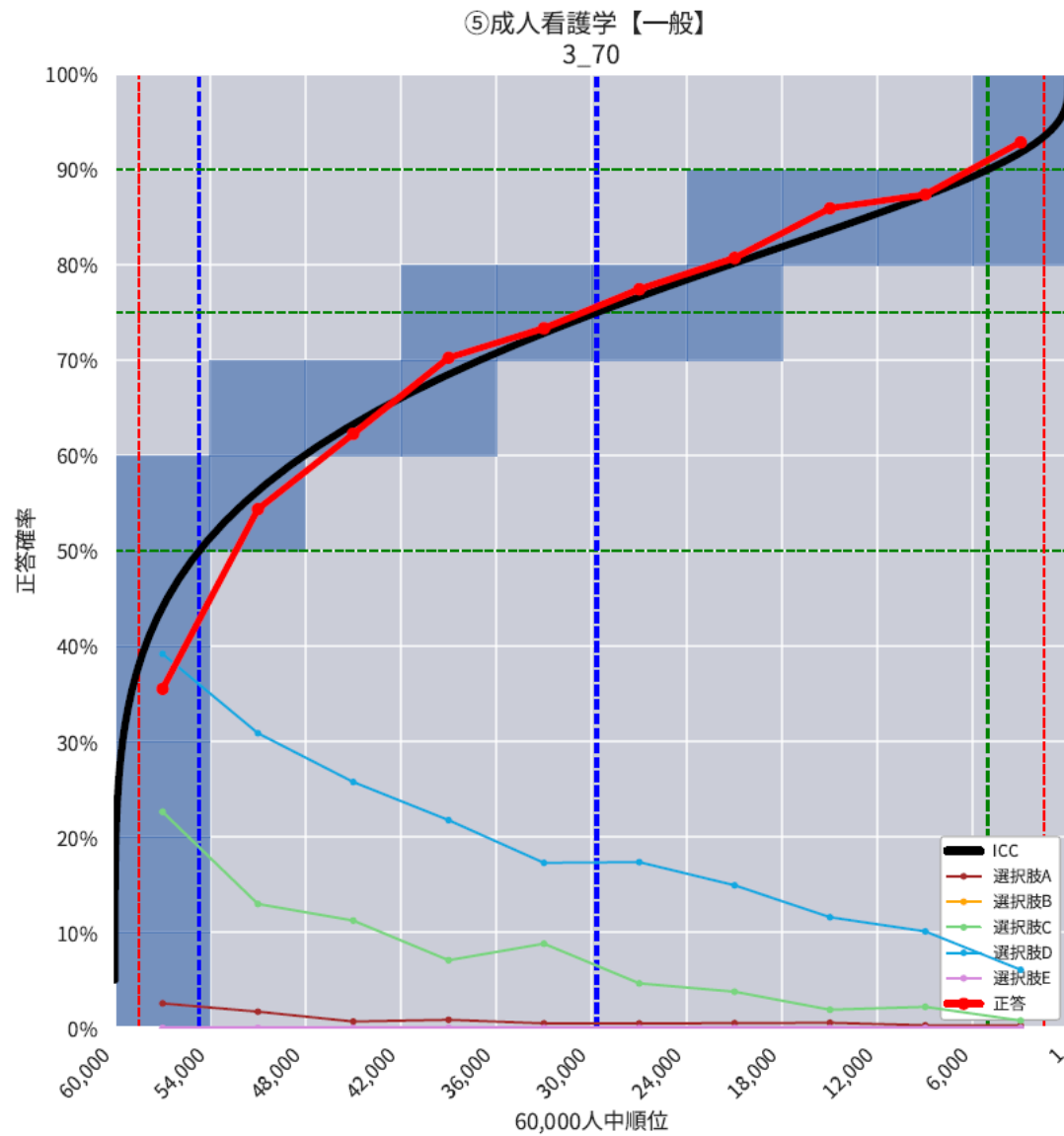
中間層：77.1%

下位層：39.8%

超音波は胎児にも用います



# IRT解析-正答率曲線 第115回午後 [問題54]



## 下位層の正答率が特に低い問題②－類題

(類題) 第111回午前 [問題50]  
乳房超音波検査を受ける女性患者への説明で正しいのはどれか。

1. 「検査当日は起床時から飲食をしないでください」
2. 「乳房を器具で挟んで検査します」
3. 「月経中は検査ができません」
4. 「仰向けで検査を行います」

<正答率65.0%>

※全国正答率(さわ研究所調べ)

乳房エコーの問題は4年前にも出題されました



## 下位層の正答率が特に低い問題③

第115回午後〔問題71〕

看護手順の目的で正しいのはどれか。

1. 優先度の判断
2. 個別的な看護の促進
3. 看護業務の負担の軽減
4. 看護ケアの水準の保持

<正答率74.2%>

※全国正答率（さわ研究所調べ）

上位層：93.8%

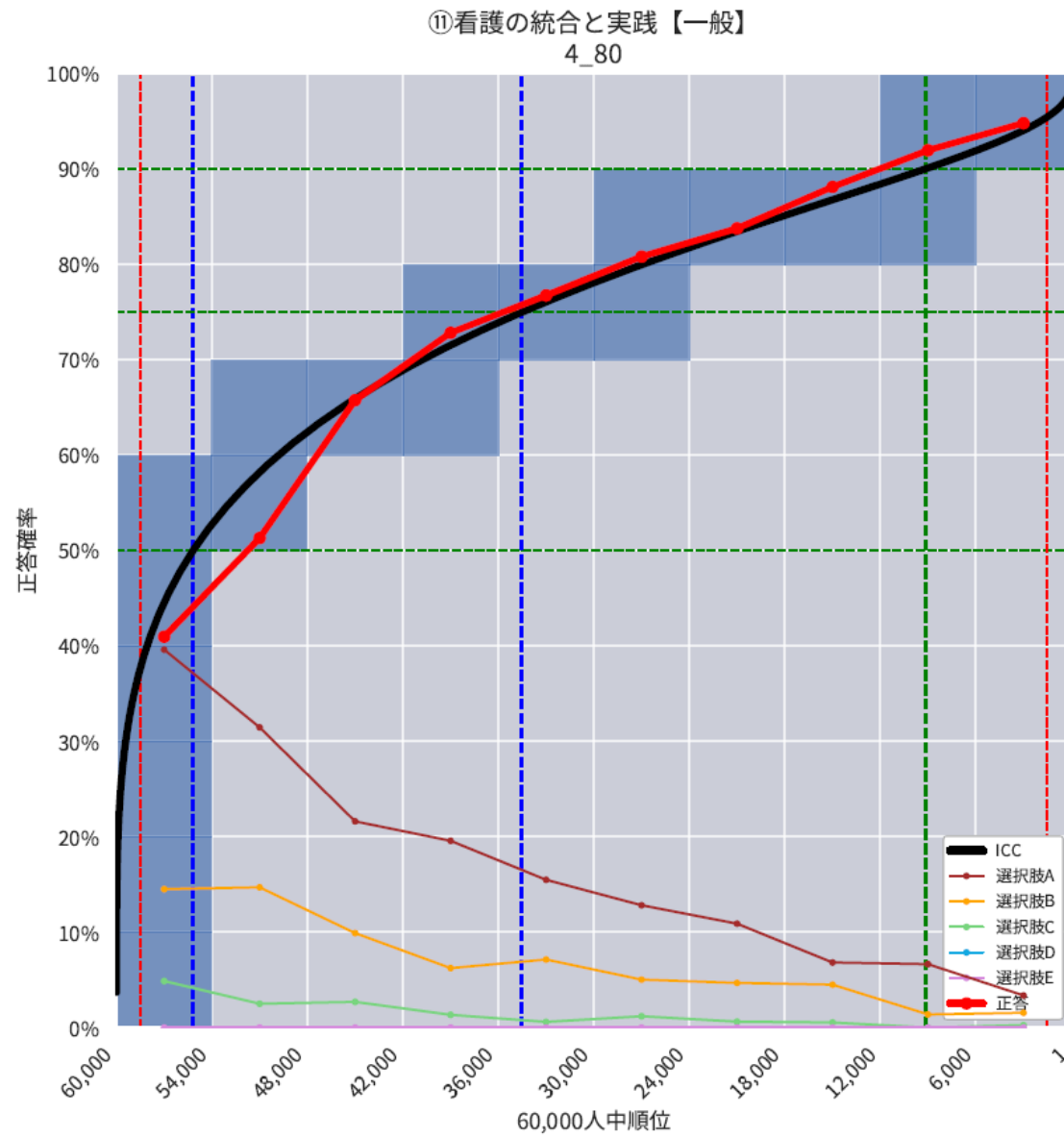
中間層：77.7%

下位層：42.8%

優先順位が大切と意識しすぎているのでしょうか？



# IRT解析-正答率曲線 第115回午後 [問題71]



## 下位層の正答率が特に低い問題④

第115回午後 [問題14]

心房細動atrial fibrillationについて正しいのはどれか。

1. 心電図でP波を認める。
2. 心房の興奮は規則的である。
3. 心房内に血栓を形成しやすい。
4. 房室結節の興奮伝導障害である。

<正答率80.9%>

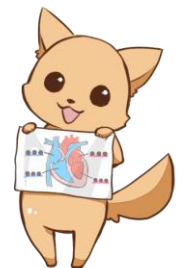
※全国正答率(さわ研究所調べ)

上位層: 97.0%

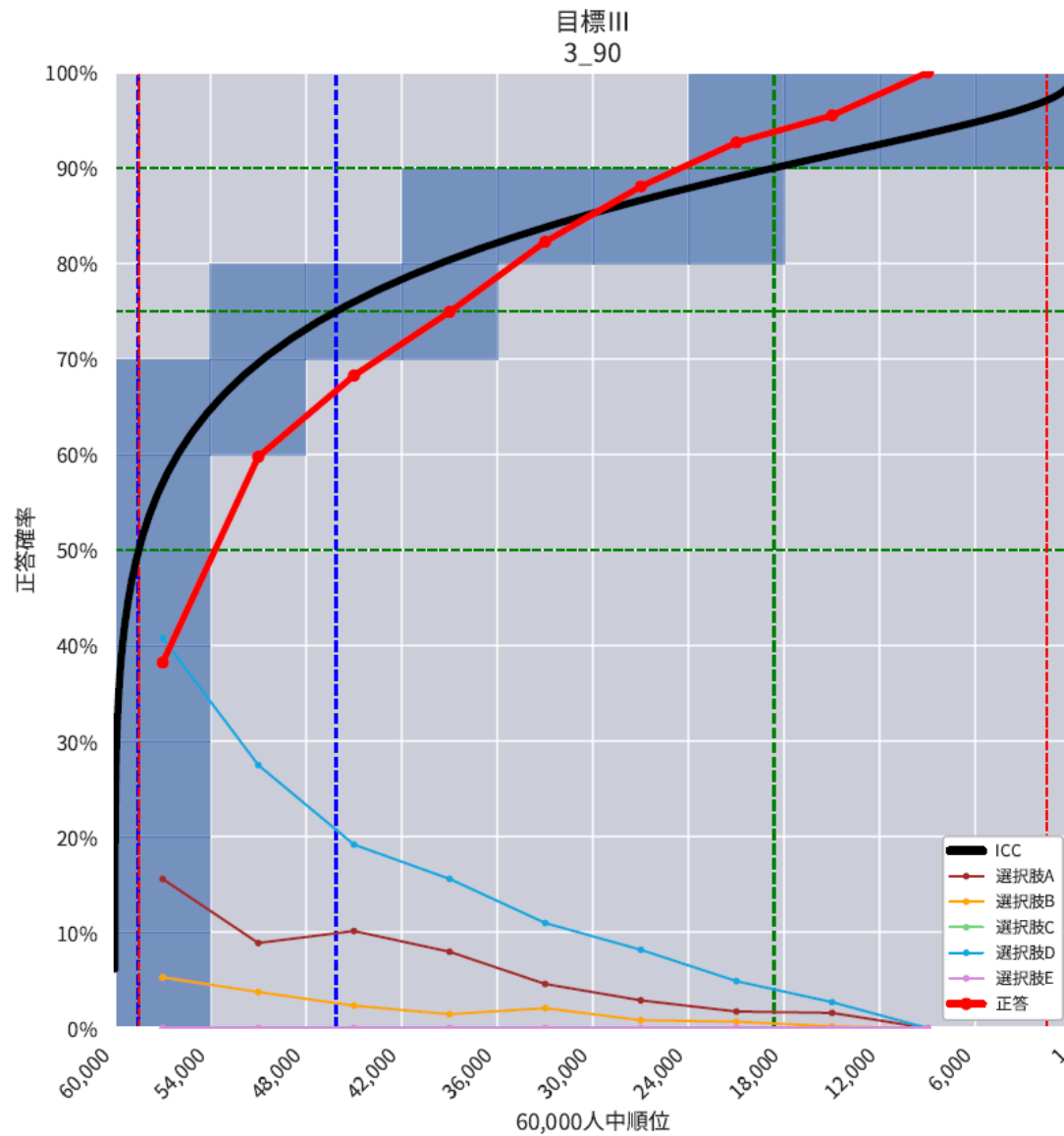
中間層: 84.5%

下位層: 50.0%

なぜ下位層の受験生は4.と答えたのでしょうか？



# IRT解析-正答率曲線 第115回午後 [問題14]



# 下位層の正答率が特に低い問題④－類題

(類題) 第99回午後 [問題71]  
心房細動で発症リスクが高まるのはどれか。

1. 脳塞栓
2. 脳出血
3. 心筋炎
4. 心外膜炎
5. 心内膜炎

過去問題の効果的な復習方法



## 下位層の正答率が特に低い問題⑤

第115回午前 [問題75]

体液について正しいのはどれか。

1. 血漿は細胞内液である。
2. 間質液は細胞外液である。
3. リンパは細胞内液である。
4. 体液は体重の30%である。
5. 細胞外液の方が細胞内液より多い。

<正答率69.8%>

※全国正答率 (さわ研究所調べ)

上位層：94.0%

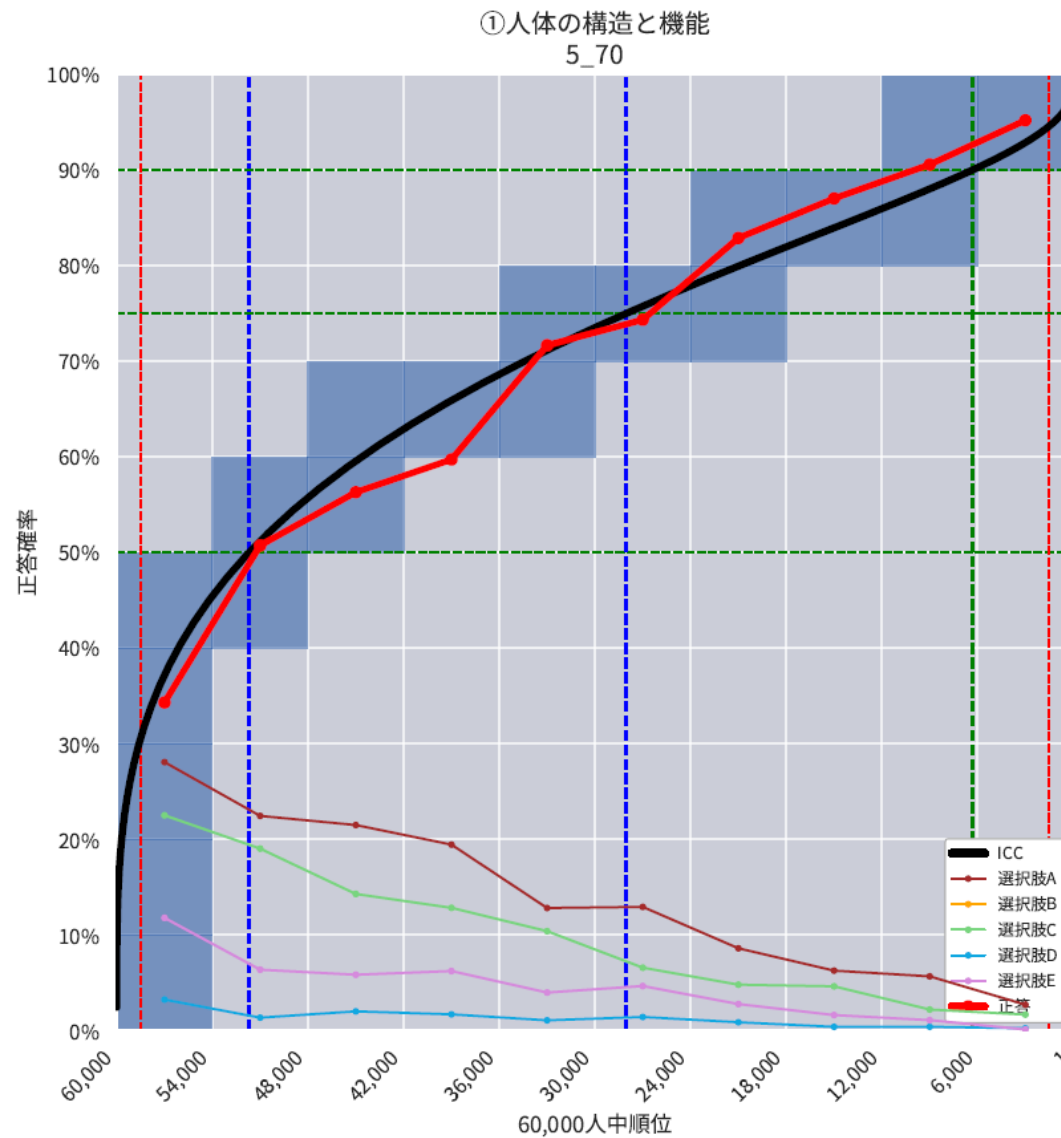
中間層：72.5%

下位層：38.2%

血漿は細胞内 or 細胞外? ——— 体液区分の整理



# IRT解析-正答率曲線 第115回午前 [問題75]



## 下位層の正答率が特に低い問題⑤－類題

(類題) 第108回午後 [問題9]  
成人の体重に占める体液の割合で最も高いのはどれか。

1. 血 漿
2. 間質液
3. 細胞内液
4. リンパ液

<正答率81.3%>

※全国正答率 (さわ研究所調べ)

正文丸暗記だけでは対応できません



それでも受かって欲しい。

